

ほけんだより

9月号

令和6年8月末日

志村さかした保育園

まだまだ残暑が続いています。元気いっぱい夏を過ごしてきた子どもたちですが、そろそろ疲れが出るころです。ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないように気をつけましょう。

防災週間 (8月30日～9月5日)



9月1日は防災の日・・・地震や火事などの災害対策の見直しを！

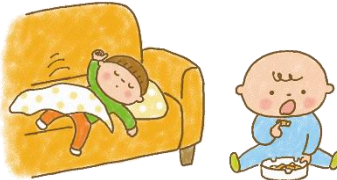
もしもの時に備えて、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、日頃から家族で話し合うことも大切です。煙を吸わずに逃げる方法や地震の時には机の下に隠れるなど、家の中で実践して緊急時に備えてもいいですね。

9月9日は救急の日・・・子どものケガを防ぎましょう！

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、実は事故の危険がひそんでいます。家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてみてください。

リビングなど

ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲みこんだりといった事故がよくあります。



キッチン

炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所です。



浴室

残り湯に落ちる、入浴中目を離したすきに溺れるなど、水の事故の危険があります。



ベランダ

台などに登って手すりを超える事故が3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。



小さいものはしっかり管理しましょう

39mm

3歳の子どもの口を開けた時の大きさです

直径39mmの円を通過するものは、子どもが誤飲してしまいます。ボタン電池の誤飲は食道や胃をただれさせ、重症事故につながります。複数の磁石を飲みこむと、腸の壁に穴を開けたり腸閉塞を引き起こしたりします。樹脂製の吸水ボールも腸閉塞の危険があります。また、たばこやお酒も中毒症状を起こすことがあります。身近なものでも飲みこむと危険なものはたくさんあります。

危険なものは子どもの手の届かない、見えないところに保管しましょう。

夏休みの間に眠る時間が遅くなったり、食事の時間が不規則になったりしていませんか？カゼをひかない強い体をつくるため、生活リズムの見直しをして元気に登園しましょう！

